

第1章 研究協力

当研究所では、研究を遂行する上で、外部機関との協力によって研究を推進する「協力研究」と、研究成果を相互に利用することを目的とする「共同研究」および研究機関相互の連携・協力によって研究

活動の一層の充実を図ることを目的とする「包括的連携協定」を実施している。

令和2年度は、下記の協力研究及び共同研究を行った。

No.	研究協力機関	区分	研究テーマ	担当部
1	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	共同研究	放射性セシウムの牧草への移行低減に関する研究	環境影響研究部
2	弘前大学 被ばく医療総合研究所	共同研究	環境中における放射性核種の移行挙動に関する研究	環境影響研究部
3	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	協力研究	リンゴ果実への炭素移行及びリンゴ樹の生育に関する調査	環境影響研究部
4	青森県原子力センター	協力研究	青森県における大気中トリチウムの化学形別濃度調査	環境影響研究部
5	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所 へリカル研究部	協力研究	植物有機結合型トリチウム (OBT) を組み込んだ環境トリチウム移行モデルに関する研究	環境影響研究部
6	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	共同研究	RIイメージング技術による植物根の炭素栄養放出の画像化	環境影響研究部
7	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所 放射線生物応用研究部	共同研究	β 線による発光現象を使用したシロイヌナズナ輸送体変異系統における放射性セシウム動態評価	環境影響研究部
8	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力科学研究研究所 物質科学研究センター 応力・イメージング研究グループ	共同研究	β 線による発光現象を使用したシロイヌナズナ輸送体変異系統における放射性セシウム動態の可視化	環境影響研究部
9	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	共同研究	加速器質量分析装置によるヨウ素-129測定法に関する研究	環境影響研究部

10	地方独立行政法人 青森県産業技術センター りんご研究所	共同研究	リンゴ‘ふじ’果実の生長及び果肉細胞分に及ぼす気温の影響に関する研究	環境影響研究部
11	青森県危機管理局 原子力センター	協力研究	青森県における大気中トリチウムの化学形別濃度調査	環境影響研究部
12	シンガポール国立大学 シンガポール核研究安全イニシアチブ 放射線生理学研究室	共同研究	胎仔期及び幼若期の低線量率放射線被ばくが神経系の発生に及ぼす影響	生物影響研究部
13	弘前大学 被ばく医療総合研究所	共同研究	青森県における放射線災害に備えた細胞遺伝学的線量評価に関する実証試験	生物影響研究部
14	弘前大学 大学院保健学研究科	共同研究	放射線防護剤による造血系放射線障害の回復メカニズムの解析	生物影響研究部
15	一般財団法人 電力中央研究所 及び 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	包括的 連携協定	低線量放射線の生物影響及び環境放射能の挙動・分布等に関する研究の包括的連携のための協定。低線量（率）放射線の健康影響及び放射性物質の環境動態を科学的に解明することを課題として研究施設・設備の相互利用及び研究者交流を促進させることを目的とする。期間：令和元年度～5年度、令和元年度～3年度。	環境影響研究部 生物影響研究部
16	国立大学法人 福島大学環境放射能研究所	包括的 連携協定	低線量放射線の生物影響及び環境放射能の挙動・分布等に関する研究の包括的連携のための協定。低線量（率）放射線の健康影響及び放射性物質の環境動態を科学的に解明することを課題として研究施設・設備の相互利用及び研究者交流を促進させることを目的とする。期間：令和2年度～5年度。	環境影響研究部 生物影響研究部
17	国立大学法人 弘前大学	包括的 連携協定	教育、研究における連携協力に関する包括協定。研究機関相互の理念、特色を基盤に、教育、研究分野で連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図ることを目的とする。期間：令和2年度～、自動更新。	環境影響研究部 生物影響研究部